

全物件でVR内見対応

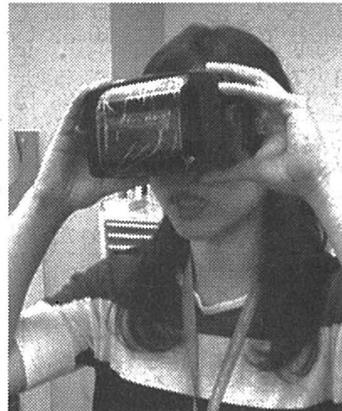
日本財託 部屋間移動も可能に

投資用マンション販売
や賃貸管理を手掛ける日
本財託（東京都新宿区、
重吉勉社長）はこのほど、
VR（バーチャルリアリ
ティ）内見サービスを始
めた。360度カメラで
撮影した画像を加工し
て、物件に行かなくても
内見できる。

内見できるようにする。
複数の部屋を移動しながら360度画像を閲覧できる。専用のヘッドセットを使えば「写真」視線を合わせることで部屋間を移動できるなど、直感的な操作も可能となる。

これまでも、物理的・時間的な制約がある転動に伴う借り上げ社宅仲介で独自の内見サービスを提供してきた。スタッフ

によるビデオ撮影と動画を提供し、要望に応じてビデオ電話などを使ったリアルタイム中継を行っている。2015年は全仲介件数の6割で利用が



あり、社宅仲介サービスで採用するとともに一般物件でも採用した。

これまでに20件以上の利用がある